

京都市土地開発公社	平成29年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	--------------------------------

基本事項

所管局課	行財政局資産活用推進室	本市出えん金	20,000 千円
基本財産/資本金	20,000 千円	本市出えん率	100.0 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	解散	目標年度	平成39年度
------------	----	-------------	--------

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	平成25年度以降15年ですべての保有地を解消した後、公社を解散することとしており、引き続き、公社による公共用地の先行取得は行わず、本市及び本市以外の者への売却を進める。
財務面	保有地を売却することにより借入金を減少させるとともに、低利の公社債を中心とした資金調達を実施済みであり、引き続き、金利負担を圧縮する。
組織面	平成25年度に、公社役員体制の見直し、公社への本市職員の派遣の廃止、公社の専従職員の廃止及び公社執務室（民間ビル賃借）の閉鎖並びに財産活用促進課（当時）内への移転を実施済みであり、引き続き、現行体制を維持する。
その他	平成25年度以降、公社の解散に向けた取組の進ちょく状況を毎年度当初の市会へ報告し、さらに保有地を解消する都度、本市ホームページで内容を随時公表している。平成27年度からは、本市が毎年度発行している「外郭団体の経営状況及び経営評価結果を説明する書類」においても、公社の解散に向けた取組の進ちょく状況を掲載し、広く市民の皆様に対して積極的な情報提供に努める。

当年度の取組目標に対する意見

所管局	事業面では、本市及び本市以外の者への売却を積極的に進め、保有地の簿価額を大幅に減少させる目標を設定している。財務面でも、保有地を売却することにより借入金を減少させ、また、引き続き金利負担を圧縮しており、評価できる。
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

当年度の取組に対する総括(※)

団体(※)	平成29年度においても保有地の解消を着実に実施し、平成29年度末の保有地の残高は、ピーク時の平成8年度末に比べ、保有面積は約5分の1に、金額では約12分の1に減少した。公社による先行取得は行わないこととしており、引き続き、保有地の売却を進める。
所管局(※)	平成24年度に定めた「公社の今後の在り方に係る方針」に基づき、解散に向けた取組を着実に実施している。今後も、保有地解消に向けて、計画的に保有地の売却を進めてもらいたい。
外郭団体総合調整会議(※)	保有地の縮減については、概ね計画どおりに実施している。 平成30年3月には低利の公社債を発行し、支払利息負担の軽減を行っており、経費節減のための取組は評価できる。 今後も保有地解消に向けて、計画的に保有地の売却を進める必要がある。

(1)業務に関する取組

目標「公社解散に向けた保有地の縮減」	
中期経営計画 における取組	保有地の解消に当たっては、先行債の元利償還額を含む本市財政負担を踏まえ、買戻しのペースを調整することにより、本市財政負担額を単年度で40億円に抑え、年度間の平準化を図る。また、公社の準備金の範囲内で、本市以外の者へ保有地を直接売却することにより、その分だけ本市が買戻す保有地が減少するため、遅くとも平成27年度までに公社からの直接売却を完了することを目指す。
当年度目標	平成29年度については、本市が公社から保有地を買戻し、保有地の簿価額を1億円解消する。公社から本市以外の者への直接売却についても公社の準備金の状況を踏まえながら進めていく。 また、保有地を解消するまでの間、当面処分予定のない保有地については、引き続き駐車場等の敷地として計画的に貸付けを行うなど、保有地の有効活用を図る。
当年度結果 (※)	平成29年度については、本市が公社から保有地の買戻し等を進めた結果、保有地の簿価額を約7億円縮減した。 また、当面処分予定のない保有地については、駐車場等の敷地として計画的に貸付けを行っており、保有地の有効活用を図っている。

指標	公社保有地の簿価額 (単位：億円)							
	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
中期経営計画	—	126		124		122		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	138	126	125	112	112	111	—	106

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
事業収益	1,414,000	1,456,982	1,377,000	1,376,704	122,000	121,663	
事業原価	1,259,000	1,366,714	1,355,000	1,352,728	107,000	106,609	
販管費	7,000	5,389	7,000	4,974	6,000	4,611	
事業利益	148,000	84,879	15,000	19,003	9,000	10,443	
経常利益	147,000	85,753	16,000	19,177	10,000	10,602	

目標「公社の資金調達における金利負担の圧縮」

中期経営計画 における取組	保有地を売却することにより借入金を減少させるとともに、低利の公社債を中心とした資金調達を実施済みであり、引き続き、金利負担を圧縮する。
当年度目標	現在の公社債が平成30年4月に償還期限を迎えるため、金利負担を圧縮できるよう、公社債を中心に新たな資金調達の検討を行う。 なお、公社債については、130億円と平成28年度から変更はない。
当年度結果 (※)	平成29年度中の公社債については130億円と変更はなかったが、平成30年3月に第4回土地開発公社債を発行（110億円。借入期間は平成30～34年度の5箇年間）したが、借入利率が0.060%（従前：0.319%）へと大幅に低下したことに伴い、平成30年度以降は借入利息を大幅に圧縮することができる見込み（約9百万円/年）となっている。 なお、平成29年度については、発行手数料（約3千万円）を初年度に負担する必要があるため、一時的に金利負担額が上昇している。

指標	金利負担額							
	(単位:百万円)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	61		41		41		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	76	61	61	41	41	41	—	71

(3)組織に関する取組

目標「京都市から公社への派遣職員及び公社の専従職員の廃止」

中期経営計画における取組	平成25年度に、公社役員体制の見直し、公社への本市職員の派遣の廃止、公社の専従職員の廃止及び公社執務室（民間ビル賃借）の閉鎖並びに財産活用促進課（当時）内への移転を実施し、同年度から大幅に公社の管理経費を削減している。引き続き、現行体制を維持する。
当年度目標	中期経営計画のとおり、京都市から公社への派遣職員数及び公社の専従職員数のゼロを維持する。
当年度結果 (※)	京都市から公社への派遣職員数及び公社の専従職員数のゼロを維持した。

指標	京都市から公社への派遣職員数及び公社の専従職員数 (単位：人)							
	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
中期経営計画	—	0		0		0		
実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	見込	実績
	0	0	0	0	0	0	—	0

(4)その他の取組

目標「解散に向けた進ちよく状況の報告等」

中期経営計画 における取組	<p>平成25年度以降、公社の解散に向けた取組の進ちよく状況を毎年度当初の市会へ報告し、さらに保有地を解消する都度、本市ホームページで内容を随時公表している。</p> <p>平成27年度からは、本市が毎年度発行している「外郭団体の経営状況及び経営評価結果を説明する書類」においても、公社の解散に向けた取組の進ちよく状況を掲載し、広く市民に対して積極的な情報提供に努める。</p>
当年度目標	<p>本年度においても、公社の解散に向けた取組の進ちよく状況について、年度当初の総務消防委員会に報告するとともに、本市ホームページにおいて随時公表する。</p> <p>これに加えて、本市が毎年度発行している「外郭団体の経営状況及び経営評価結果を説明する書類」においても、公社の解散に向けた取組の進ちよく状況を掲載することで、広く市民の皆様に対して情報提供を行う。</p>
当年度結果 (※)	<p>公社の解散に向けた取組の進ちよく状況について、平成29年4月の総務消防委員会に報告するとともに、本市ホームページにおいて随時公表を行った。</p> <p>また、平成27年度からは、本市が毎年度発行している「外郭団体の経営状況及び経営評価結果を説明する書類」においても、公社の解散に向けた取組の進ちよく状況を掲載し、広く市民の皆様に対して情報提供を行っている。</p>

指標	経済総務委員会（平成29年度から総務消防委員会）への公社解散に向けた進ちよく状況の報告時期 (単位：年月)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	H27.5		H28.4		H29.4		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	H26.4	H27.5	H27.5	H28.4	H28.5	H29.5	—	H29.4